

学校経営推進費 評価報告書（１年め）

１．事業計画の概要

学校名	大阪府立大阪南視覚支援学校
取り組む課題	生徒の自立を支える教育の充実
評価指標	・視覚障がい児における教育環境整備 ・支援学校における児童・生徒、保護者の学校満足度の向上 ・支援学校における地域連携と外部への情報の発信
計画名	視覚障がいを伴う重複障がい児の教育充実プロジェクト

２．事業目標及び本年度の取組み

学校経営計画の 中期的目標	幼児・児童・生徒の障がいの多様化・重複化に対応し、一人ひとりの教育的ニーズに対応した指導・支援を行う。【R4 重複障がいプロジェクトチームでの検討開始→R5 支援方を共有し検証→R6 幼～高で本格運用】 R5 学校経営推進事業「視覚障がいを伴う重複障がい児の教育充実プロジェクト」に取組み、R7 年度には、取組み成果を全国に発信する。
事業目標	【背景】近年、全国的に視覚支援学校においては児童生徒数の減少と在籍者の重度重複化・多様化がみられ、本校も同様で、視覚障がいに加え重度の自閉児、強度行動障害、肢体不自由、医療的ケアなどを有する児童等が増加。その対応のため、昨年度から校内 PT を発足、その充実のため本事業を実施する。 【事業目標と内容】視覚障がいを伴う重複障がい児の教育環境の整備と教育内容の充実を図る。 １．環境の整備 ① 触覚的環境認知ができる校舎環境の整備（１階エントランスにおける環境整備） 校内において点字ブロックに加え、柱に触覚的なアクセントを設置する他、床面も柱の周りのみアクセントをつけ、重複障がい児自身が自分が現在居る場所を把握しやすくする。アクセントを視覚的に認知しやすい色で分けることで、弱視児の環境把握にも役立つ。 ② 触察しやすい畑の整備（２階屋上にある畑の整備） 視覚障がいを伴う重複障がい児にとって、従来の畑では、長時間腰を曲げるなど、触察による観察や活動は姿勢維持が困難である。そのため、新たに高さのある大型プランター型の畑を整備し、触察しやすい環境を整え教育活動を充実させる。 ③ 視覚障がいを伴う重複障がい児のスヌーズレンスペースの整備 視覚障がいを伴う重複障がい児がパニックになった際などに使用する常設のクールダウンスペースをスヌーズレン等も活用して新たに整備する。触覚的・聴覚的・視覚的に落ち着ける環境が常にあることで、心を落ち着かせる心地よい環境を作り、精神的な安定をサポートする。 ２．視覚障がいを伴う重複障がい児についての授業研究及び専門性向上 当該分野の研究者を講師として学校に招き研修を行うとともに、日頃の授業について研究を行う。また、より細やかに実態把握を行うため視覚重複障がい児における必要なアセスメント用具（検査器具等）を整備する。
整備した 設備・物品	① １階エントランスの整備、触覚環境認知出来る素材工事 ② ２階屋上、触察しやすい畑の整備

	③3階クールダウンスペースの整備 ④アセスメント用具の整備
取組みの 主担・実施者	主 担：首席を中心とした全校組織「重複障がい教育プロジェクトチーム」に、指導教諭、各学部担当が入り、研究を進めていく。また、企画調整会議において、校長、教頭、各部主事等に随時報告を行い、多くの教員と連携しながら進めていく。 実施者：全教職員
本年度の 取組内容	・全校組織としての重複障がい教育プロジェクトチームの話し合いを7回実施した。 (5/18、6/15、7/13、10/19、12/20、1/18、3/7) ・各学部の実態把握と情報共有を行い、幼稚部、小学部、中学部、高等部の全在籍児の眼疾患名一覧表にまとめ職員会議を通じて周知した。(7/20) ・スヌーズレンスペース物品のバブルタワー、ミルキーウェイ、ジュピターの設置を行い、全校に周知。(10/4) ・筑波大学の佐島教授による「盲児・弱視児の障がい特性に応じた魅力的で主体的な活動を支える学びの環境」と題して、ZOOMによる職員研修会を実施(10/4) ・筑波大学附属視覚特別支援学校において、視覚障がいを伴う重複障がい児の教育を見学(11/24) ・終業式にて、1階の触って分かる柱の工事並びに、3階のスヌーズレンスペースの状況を全校在籍児に説明(12/22) ・府立中津支援学校において、スヌーズレン教育の研修参加(12/26) ・1階エントランスの整備、触覚環境認知出来る素材工事と設置確認(1/4) ・4階クールダウンスペースの追加整備工事と確認(1/9) ・2階触察しやすい畑の整備工事と確認(2/17) ・視覚障がいを伴う重複障がい児におけるアセスメント形態の検討及び発達指標等の検討(年間) ＜整備とその成果＞ ① 触覚的環境認知ができる校舎環境の整備（1階エントランスにおける環境整備） 1階のエントランススペースの柱4本に名前をつけて、それぞれに異なる色と素材のものを取り付けた。 ●歩行指導の起点となり、重複児のみならず、柱ごとに色を分けた事もあり、弱視児への指導でも活用している。 ② 触察しやすい畑の整備（2階屋上にある畑の整備） 新たに立ち上げ式の畑を整備した。 ●車イスやバギーから乗り降りせず、畑の土の感触を確かめることができ、重複児の負担が減った他、盲児にとって、触ることに集中できる環境となった。 ③ 視覚障がいを伴う重複障がい児のスヌーズレンスペースの整備 新たにスヌーズレンスペースを設置し、ヨギボーやバブルタワー等を設置した。 ●自立活動の幅が広がり、クールダウンだけでなく、音や光、感触を体感し、重複児の興味の幅が広がっている。
成果の検証方法 と評価指標	①学校教育自己診断（児童・生徒・学生）における「学校に行くのがたのしいかどうか」を95%以上にする。(R2:79% R3:89% R4:92%) ②校内において、1階エントランスの柱の素材や2階の畑、スヌーズレンスペースの整備によって、視覚障がいを伴う重複障がい児の教育環境が改善されたかの職員アンケートを行い、肯定的評価を70%以上得るとともに、初年度の取り組み内容における実践紹介を校内において公開、紹介する。
自己評価	①学校教育自己診断（児童・生徒・学生）における「学校に行くのがたのしいかどうか」を95%以上にする。(R2:79% R3:89% R4:92%) ⇒R5:85%【幼小小学部 86%、中学部 100%、高等部 100%、専修部 77%】

	評価指標の95%には届かなかったが、中学部、高等部においては目標を上回っている。これは、今回の整備が主に重複児を中心に行っているので、医療系職業学科の専修部の学生にとってはカリキュラムにない畑や静養目的のスヌーズレンの活用が難しいと考えられる。今後、評価指標を、実際に整備の活用が考えられる幼～高に変更も検討したい。また、質問項目が整備を中心に聞いていないので、整備に限って質問をすると変わってくるかもしれない。……………(○) ②校内において、1階エントランスの柱の素材や2階の畑、スヌーズレンスペースの整備によって、視覚障がいに伴う重複障がい児の教育環境が改善されたかの職員アンケートを行い、肯定的評価を70%以上得るとともに、初年度の取り組み内容における実践紹介を校内において公開、紹介する。 ⇒3月1日～13日に職員を対象に無記名で実施した。 今年度の整備項目について、1階のエントランススペースの柱の整備においては、歩行環境が改善されたとされる、肯定的評価が全体の75%であった。また、2階屋外の畑の整備においては、改善されたとの意見が全体の73%であり、3階のスヌーズレンスペースの整備においては、効果が見られたとされる評価が75%となり、主な整備の項目いずれにおいても、目標の70%を超え、評価指標を上回る結果となった。また、今年度の取り組み内容を整備前と整備後に画像等でまとめ、学校運営協議会等においても効果を報告した。……………(◎)
次年度に向けて	次年度においては、今年度の整備を踏まえ、プロジェクトチームを中心に、それぞれの整備における活用と実践をまとめていく他、視覚障がいに伴う重複障がい児の研究をしている大学教授を本校に招き、職員研修の実施を予定している。整備したものを活かし、実践を蓄積するなかで、府内や近畿地区等に公開していくことを目標にしたい。

3. 事業費報告

今年度事業費総額	4,205,511	円
----------	-----------	---

積算内訳

* 決算科目（節）を明示し、節毎に積算内訳を記載すること。

積算内訳	科目（節）	番号	内訳	単価	数量	金額
	2 旅費	1	視覚障がいを伴う重複障がい児に関する研	¥30,540	1	¥30,540
		2				
		3				
	小計					¥30,540
	3 消耗需用費	1	スヌーズレン ミルキーウェイダブル	¥74,250	1	¥74,250
		2	スヌーズレン ジュピター・リトル JLI-300	¥49,940	1	¥49,940
		3	ヨギボー バブル	¥26,074	1	¥26,074
		4	ヨギボー ドロップ	¥33,640	1	¥33,640
		5	スヌーズレン 間仕切パネル小W900×H1800	¥53,680	3	¥161,040
		6	スヌーズレン 間仕切パネル大W1200×H1800	¥57,750	3	¥173,250
		7	電子吸着ボード大W1200mm×H940mm	¥28,468	1	¥28,468
		8	重たい円柱さし	¥39,360	1	¥39,360
		9	ティーダーポッパー	¥6,622	4	¥26,488
		10	ロッキングボール・クリアー	¥24,970	1	¥24,970
		11	木枠パネル【空間探索セット】	¥88,639	1	¥88,639
		12	ヨギボー ドロップ用カバー	¥11,814	1	¥11,814
		13	ヨギボー バブル用カバー	¥8,470	1	¥8,470
		14	ヨギボー マックス ラベンダー	¥35,640	1	¥35,640
		15	ヨギボー マックス用カバー ラベンダー	¥14,190	1	¥14,190
		16	手でみる算数教具手で見る分数教具	¥22,000	1	¥22,000
		17				
	小計					¥818,233
	8 備品購入費	1	スヌーズレン アクアTWIN	¥238,700	1	¥238,700
		2	スヌーズレン キャノピー	¥385,000	1	¥385,000
		3				
	小計					¥623,700
	9 工事請負費	1	1階エントランス柱壁触覚仕様改修工事	¥99,000	4	¥396,000
		2	スヌーズレン用遮光カーテン設置工事	¥61,908	1	¥61,908
		3	立ち上げ式畑の整備工事	¥2,022,130	1	¥2,022,130
		4	立ち上げ式畑の整備工事（車椅子用スロー	¥253,000	1	¥253,000
	小計					¥2,733,038
	合計					¥4,205,511